

平成26年度採用分海外特別研究員

申請書提出にあたっての事務担当者用チェック要領

**今回募集分より、申請書類の提出を電子申請システムでの提出（送信）のみとしています。
（ただし、申請件数一覧および申請リストについては、従来どおり郵送等による提出が必要です。）**

申請書類をとりまとめて本会に提出（送信）いただくにあたり、例年、申請資格不備、書類不備にて選考の対象外とせざるを得ない案件が発生しております。各機関におかれましては、いま一度、中身を精査していただくようお願いします。

今回募集分より、申請書類の提出は「電子申請システム」でのみとしますので、申請書類の提出方法、また特に注意して点検いただきたい事柄を、以下に掲げますので、提出前に確認してください。

申請者が「電子申請システム」内で一度「提出」の処理をした「申請書情報」の記載内容を訂正する場合、事務担当者は「電子申請システム」内で当該申請者の「申請書」の「却下」の処理をします。その後、申請者本人が「電子申請システム」上の情報を訂正し、再度「提出」の処理をさせていただきます。

なお、いったん取りまとめて本会に提出（送信）いただいた後に、追加することは認められませんので、ご注意ください。申請書提出後の申請書の修正・差し替えは本会では一切受理できませんので、募集の周知の際にその旨を申請者へ必ずご指導ください。

1. 申請書類の提出方法について

今回募集分より申請受付の完全電子化に伴い、申請書類の提出にあたっては以下の2種類を行っていただく必要があります。それぞれについて期限が設定されております。

(1) 申請書類の電子申請システムによる提出（送信）【Web上の送信のみ・紙媒体の提出は不要】

- ・申請書類の構成は下表のとおりです。
- ・申請書類全てが揃わなければ、申請することはできません。
- ・申請リストの確定を行うことにより、本会へ申請書類が提出（送付）されます。
※郵送等による紙媒体の申請書類の提出は不要です。
- ・本会へ申請書類の提出（送付）は、平成25年5月13日（月）17:00（日本時間）です。

<申請書類の構成および作成方法>

| | 内容 | 作成方法 | 作成者 |
|----------|--------------------------------|---------------------------------------|-------------|
| 申請書情報 | 学歴・研究課題名等を記載 | 電子申請システムにおいてWeb入力 | 申請者 |
| 申請内容ファイル | 現在までの研究状況・派遣先における研究計画・研究業績等を記載 | 本会ホームページから取得したWord等で作成後、電子申請システムへ登録 | 申請者 |
| 受入意思確認書 | 海外における受入研究者の受入に関する意思の確認 | 電子申請システムにおいてWeb入力 ※ID・パスワードは、申請者が | 海外における受入研究者 |
| 評価書 | 申請者の研究内容に精通している研究者1名による評価 | 作成依頼処理をすることで、電子申請システムより作成者へEmailにより通知 | 評価書作成者 |

(2) 「申請件数一覧（別添1）」・「申請リスト（別添2）」の提出【紙媒体での郵送等による提出】

- ・申請書類の提出（送信）とは別に、「申請件数一覧」・「申請リスト」の2点の書類は紙媒体で提出してください。
- ・「申請件数一覧」と「申請リスト」については、本会の「電子申請システム」より印刷してください。
※「電子申請システム」より出力した「申請件数一覧」ファイルにより印刷ができない場合には、「電子申請システム」の出力画面の注意書き中の「こちら」より Word ファイルを出力することができますので、そちらに件数等を手動で入力し、印刷してください。
- ・「申請リスト」は、部局順・受付番号順に申請者が掲載されます。（受付番号は、申請者が「申請書情報」の入力を完了した際に自動的に付番されます。申請機関内で連番にはなりません。）
- ・本会へ書類の提出期限は、平成25年5月13日（月）～5月16日（木）です。

2. 申請書のチェック項目について

- 1) 昨年度から部局コードを4桁にしました。これに伴い、従来使用していた「その他のコード（999）」についても、各部局名に対応したコード番号を新規に作成しました。各項目の部局名について、新規コードに基づく部局名が入力されているか確認してください。なお、「部局コード一覧」に該当のない部局名の場合は、「9999（その他）」を使用してください。

その他、「平成26年度採用分海外特別研究員申請書作成要領」に即して記入されているか、確認願います。

2) 申請資格等を満たしていることの確認について

(ア) 年齢について

申請できるのは、採用年度の4月1日現在の年齢が、募集要項に記載の年齢要件を満たす者です。（具体的には、平成26年度採用分については平成26年4月1日現在の年齢が年齢要件を満たす必要があります。）

- ① 医学、歯学又は獣医学系の博士課程を修了、あるいは在学している者に係る年齢要件については、特に注意してください。なお、ここでいう医学、歯学又は獣医学系の博士課程は、4年制の博士課程を指します。医学、歯学又は獣医学系の研究科等であっても、「博士(医学)」「博士(歯学)」「博士(獣医学)」を授与しない3年制の専攻の場合は区分制として取り扱います。
- ② 臨床研修の実績の確認が必要な者（医学、歯学又は獣医学の分野で採用年度の4月1日現在35歳若しくは36歳となる者）については、採用内定となった後に臨床研修の期間を証明する書類を提出していただき確認をいたします。

特に、**36歳となる者**の申請が可となる条件である医師法（平成12年の改正法）により義務付けられた臨床研修とは、平成16年4月1日の施行日以降に開始された初期臨床研修のことです。それ以前より臨床研修をされている場合には該当しませんのでご注意ください。

(イ) 博士の学位等について

次のいずれかでないと申請できません。

- ・平成26年度採用分については平成26年4月1日までに学位を取得している者（申請時においては見込みでも良い。）
- ・平成26年度採用分については平成26年3月31日までに、人文学・社会科学の分野で学位の取得が著しく困難な分野を専攻する者で、国内の大学院博士課程に標準修業年限以上在学し、所定の単位を修得の上退学する者（いわゆる満期退学者）

(ウ) 外国人の申請について

我が国に永住を許可された外国人は申請できます。（在留資格が「留学」、「日本人の配偶者」等の場合は、申請できません。）申請にあたっては「外国人登録済証明書」等の添付が必要になりますが、本会への提出前に在留資格を確認してください。

- 3) 「⑩大学院博士課程」と「⑪学歴」の記載内容について
「⑩大学院博士課程」欄の入学年月等の記載内容と、「⑪学歴」欄に記載された学部及び修士の学歴と、のあいだに、矛盾している点がないかを確認してください。
- 4) 「⑬現在の所属機関」について
職名、任期の有無が正確に記入されているかを確認してください。
- 5) 「⑭申請資格」について
機関として常勤研究者と認識している者以外が資格(I)を選択していないかを確認してください。
- 6) 「⑲所属機関」について
希望連絡先と同様に、申請者と連絡を取る際に使用しますので、事務局等の連絡先を記載している場合には、申請者本人と連絡の付く機関における連絡先を記載するようご指導ください。なお、機関における連絡先がない場合には、空欄で構いません。
- 7) 「⑳希望連絡先」について
希望連絡先が所属機関の住所の場合、確実に郵便物等が届く住所であるか確認してください。
(機関により異なりますが、研究室名等の必要な情報が記載されているかを確認してください。)
- 8) 「㉑現在の受入研究者」について
所属機関、部局、部局種別、職名が正確に記入されているかを確認してください。
- 9) 「㉒大学院での受入研究者」について
 - (ア) 大学院での受入研究者とは、区分制でいう、大学院博士課程在学当時の研究指導者を指します。
区分制でいう、大学院修士課程ではないので注意してください。
 - (イ) 所属機関、部局、部局種別、職名が正確に入力されているかを確認してください。
- 10) 「㉓海外における受入研究者」について
所属機関、部局、部局種別、職名が正確に記入されているかを確認してください。

【申請書情報のチェック箇所】

申請書情報(W e b上で入力)部分の必須項目、桁数チェック等の基本的なチェックは電子申請システム上で行っています。上述の注意事項に留意した上で、申請書情報のチェックは下記の項目について行ってください(該当箇所は、次ページの図をご参照ください)。

A: 申請者氏名

指定の登録方法で登録されているか確認してください。(「電子申請システムによる申請手続の概要(申請機関担当者用)」P. 11参照) 戸籍名は機関担当者が登録し、登録名およびローマ字表記は申請者が電子申請に入力します。

B: 年齢

36歳の者が申請可能となる条件は、平成16年4月1日以降に開始された初期臨床研修を修了していることです。それ以前より臨床研修をされている場合には該当しません。該当者については、申請書類の提出前に、申請者ご本人に確認してください。

C: 現在の所属機関・申請資格

所属機関における「職名」及び「任期の有無」に誤りがないかを確認してください。

また、申請資格(I)については、所属機関が常勤研究者であると認識している場合にのみ選択可となります。常勤研究者ではないにもかかわらず、申請者個人の判断で資格(I)を選択している場合には、ご指導ください。

D: 希望連絡先

連絡先を所属機関等に行っている場合、確実に郵便物等が届くよう研究室名等詳細な住所が記載されているかを確認してください。

E: 「現在の受入研究者」等の研究者情報

貴機関に所属の研究者が記入されている場合、氏名や所属部局、職名等が正しく記入されているかを確認してください。

No. (申請書情報)

平成 26 年度採用分
海外特別研究員
申請書
第 1 版

| | | |
|---------------|--|--------|
| ①審査領域 | | 受付番号 |
| ②分科 | | |
| ③細目 | | ⑤専門分野 |
| ④分科・細目 コード | | ○○○○○学 |

1. 申請資格等 (所属機関コード: ○○大学)

| | | | |
|-------|-------------------------------------|-----------------|-----|
| A | (フリガナ) 登録名 | ガクシン ハナコ | ⑦性別 |
| | 学振 | 花子 | |
| | (フリガナ) 戸籍名 | ガクシン ハナコ | |
| | 学振 | 花子 | |
| ⑧氏名 | ローマ字 | GAKUSHIN Hanako | |
| | 表記 | | |
| ⑨国籍 | ○○○○ | | |
| ⑩生年月日 | (西暦) 年 月 日生 (西暦 2014 年 4 月 1 日現在 歳) | | B |

| | | | |
|----------------------------|--------------|---------------|-------|
| ⑪ 大学院 博士課程 (出身または在学) | 入学年月 | (西暦) 年 月 入・進学 | |
| | 大学名 | | |
| | 研究科名 | | |
| | 課程種別 | | |
| | 修了・進学等 | | |
| ⑫ 学位 (学部、 修士、博士) | 学位 | (西暦) 年 月 日 | |
| | 学位付記 専攻分野 | | |
| ⑬ 研究・職歴等 | | | |
| ⑭ 現在の 所属機関 | 所属機関名 | | |
| | 部署名 | 種別 | |
| | 職名 | 准教授 (004) | 任期の有無 |
| ⑮ 申請資格 | (1) 常勤研究者 | | |
| ⑯ 海外特別研究員 終了後の進路 | | | |

- 1 - 申請者登録名

| | |
|------------------------------|---|
| ⑰ 奨学金・ フェローシップ の有無 | 名称: |
| ⑱ 研究課題名 | (和文) |
| | (英文) |
| ⑲ 派遣を希望する期間 | (西暦) 2014 年 9 月 1 日 ~ (西暦) 2016 年 8 月 31 日 |
| ⑳ 派遣国 | |
| ㉑ 海外における受入の 大学等研究機関での身分 | |
| ㉒ 平成 26 年度採用分 特別研究員との併職 | |
| ㉓ 現住所 | 国名: |
| | 電話番号: 携帯電話番号: FAX 番号: Email 1: Email 2: |
| ㉔ 所属機関 (所在地・機関名・ 部署等名) | 国名: |
| | 電話番号: FAX 番号: Email: |
| ㉕ 希望連絡先 | 国名: |
| | 電話番号: 携帯電話番号: FAX 番号: Email 1: Email 2: |

- 2 - 申請者登録名

| | | |
|-------------------|--------------------|---|
| ㉖ 現在の 受入研究者 | (フリガナ) 氏 (ローマ字) | |
| | 研究者番号 | |
| | 所属機関名 | |
| | 部署名 | 種別 |
| ㉗ 出身大学院の 研究指導者 | (フリガナ) 氏 (ローマ字) | |
| | 所属機関名 | |
| ㉘ 海外における 受入研究者 | 氏名 | (英文) (FAMILY NAME) (First Name) (Middle Name) |
| | | (漢字等) |
| | 職 | (英文) |
| | | (和文) |
| | | (種類) |
| | | (英文) |
| ㉙ 連絡先 | 電話番号: | (内線) |
| | FAX 番号: Email: | |
| ㉚ 評価書作成者 | (フリガナ) 氏 (ローマ字) | |
| | 所属機関名 | |
| | 部署名 | 種別 |
| | 職名 | |
| 連絡先 | Email: | |

- 3 - 申請者登録名

| | | | | | |
|-------------------------------|------------------------|-----------------------------|-----|--------|-----|
| ㉛ 研究活動に おける主な 使用言語 | 言語: 英語 | 試験名称: TOEFL (1012) | | | |
| | 級/スコア: 750 | 取得年月日: (西暦) 2000 年 9 月 15 日 | | | |
| ㉜ 語学検定 試験結果 | 言語: 英語 | 試験名称: 国産英語 (1023) | | | |
| | 級/スコア: 120 | 取得年月日: (西暦) 2009 年 11 月 3 日 | | | |
| ㉝ 自己評価 | 言語: | 理解力 | 作文力 | ヒアリング力 | 会話力 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| ㉞ 海外における 研究・留学歴 | 訪問先: 目的: | | | | |
| | 期間: (西暦) 年 月 日 ~ 年 月 日 | | | | |
| | 訪問先: 目的: | | | | |
| | 期間: (西暦) 年 月 日 ~ 年 月 日 | | | | |
| ㉟ 海外特別研究員 制度における 支援の必要性 | | | | | |
| | | | | | |

- 4 - 申請者登録名

【申請内容ファイル・受入意思確認書について】

- ・申請内容ファイル: PDF 変換後、文字化けや図表について申請者が確認するようご指導ください。
事務担当者の方における確認は不要です。
- ・受入意思確認書: 事務担当者の方における確認は不要です。

【この様式は見本です。】

「電子申請システム」より印刷してください。

別添1

申請機関コード

平成 年 月 日

海外特別研究員〔平成26年度採用分〕

申請件数一覧

独立行政法人日本学術振興会 理事長 殿

所属機関 所在地

研究機関 名称

機関長職・氏名

職印

海外特別研究員〔平成25年度採用分〕申請書を下記のとおり提出します。

記

申請件数 件 (内訳別紙リストのとおり)

担当部局

担当者名

連絡先住所

電話番号

FAX番号

E-Mail アドレス

